

課題	富良野市は人口減少と高齢化が進行しており、特に郊外地域で高齢化が顕著。公共交通の利用者数は減少傾向にあり、日中の利用が少ないことが課題。 市民の移動ニーズに応じた交通網の再編や観光客の移動手段の充実も重要。居住地域によらず公共交通が移動選択肢として位置づけられること、市民及び来訪者の広域的な移動を支援する公共交通の維持、公共交通の利用促進、様々な分野と連携した総合的なサービスの実現が課題。	事業エリア /交通事業 (予定) 事業エリア： 富良野市 交通事業： ふらのバス(株)、(株)富良野タクシー
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ふらのバスへのstera transitの導入によるキャッシュレス化の促進と同一地域で営業する富良野タクシーとの連動性を高め、市民および観光客の利便性向上を目指す。 (生活者向けサービスの向上) ・公共交通のキャッシュレス化 ・富良野タクシーとの連携サービス ・デジタル企画乗車券の造成および観光客向けの情報発信の拡大 [モビリティ・データの取得と活用] タッチ決済による交通利用と消費、観光活動をキャッシュレスデータから分析 [地域交通政策等との連携] 富良野市地域公共交通計画では、「広域交通の維持(旭川方面への移動利便性向上)」「ICT化による決済方法の実現(市民の利便性向上)」「観光交通の充実」「福祉分野との連携」等が謳われており、本プロジェクトと合致する	MaaS アプリ等 stera transit、SMCC MaaSアプリ
効果	● 市民および観光客両面での公共交通の利便性向上 ● 現金取り扱い量の減少による効率的な企業経営 ● ふらのバス・富良野タクシー双方の利用者増加	データの活用等 ■ データの取得方法：stera transit、Custella transit、JCB Data Driver ■ データの活用方法 目的:乗降データやユーザー属性・消費データの取得のため 使用するサービス:stera transit
事業の新規性	・利用者の分析データのオープン化(富良野市HP等で公開を検討) ・stera transit利用データの分析による観光交通計画の高度化の検討 ・沿線の観光地・宿泊施設と連携した公共交通利用促進の取組み(利用者アンケート等により、宿泊施設との連携サービスの拡充を調査)	座組 スケジュール 実施団体 全体統括 ふらのバス 全体調整・広報 地域交通政策連携等 三井住友カード 富良野市 ふらの観光協会 キャッシュレス決済導入等 JCB 北海道アトラス 小田原機器 QUADRAC 運行主体 ふらのバス 富良野タクシー 11月 サービス要件検討 12月 システム開発～テスト環境試験 2月 本番環境試験～実証運行 3月 効果測定